

南米パラグアイの感染症を防げ！

～福岡の企業が「ボウフラ殺虫剤」で感染症から住民の健康を守る～

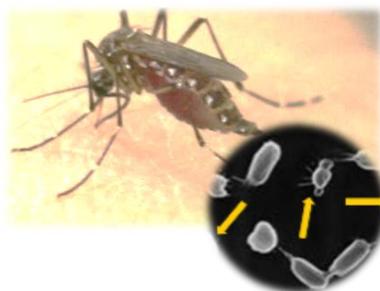
国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社九州メディカル(北九州市小倉北区、波多野稔丈代表取締役社長)が提案した「安全で環境に優しい微生物製剤による化学薬剤耐性ボウフラ対策と蚊媒介感染症予防の案件化調査」(パラグアイ)を採択しました。

パラグアイを含む中南米地域では、蚊を媒介するデング熱などの感染症対策が課題となっています。一方、現地では使用中の薬剤に耐性を持つボウフラの出現が明らかになり、その対応が急がれています。

当社製品の「ボウフラ殺虫剤」は、微生物がつくる「タンパク質」を殺虫成分とする微生物製剤という特徴があり、化学殺虫剤と比較し人体はもちろん他の生物、特に水生生物への影響が非常に小さいとともに、現在の耐性ボウフラへの殺虫効果があります。さらに、将来的に新たな耐性ボウフラが出現する可能性も低く、感染地域住民の健康維持、感染率低下による医療費の抑制などの効果が期待されます。



提案製品の「ボウフラ殺虫剤」



製品の特長

- 発泡錠剤の微生物殺虫剤
- ボウフラがいる場所に投げ入れるだけの簡単使用
- 安全なので様々な場所に対応可能

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業・SDGs ビジネス支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を行う。2012年度から実施されており、2019年度第1回分は今年4月に公示を行い、46件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2019年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/press/2019/20190823_10.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州センター 市民参加協力課 担当: 藤井
 TEL: 093-671-8204 e-mail: Fujii.Keitaro2@jica.go.jp